

## 米国国務省外交文書(セントラル・ファイル) ブルガリア国内事情関係文書 1945年-1954年 Bulgaria: Records of the U.S. Department of State Relating to Internal Affairs, 1945-1954

### ディミトロフ、チェルヴェンコフの下での共産党一党独裁体制

第二次大戦後ブルガリアでは 1948 年までに共産党の一党独裁体制が確立しました。共産党は最も重要な省庁を掌握し、1923 年以来亡命生活を送り、ドイツ国会議事堂放火事件後に開かれた 1933 年のライプチヒ裁判の英雄として国際的な名声を得ていたゲオルギ・ディミトロフ (Georgi Dimitrov) が 1945 年、亡命先のモスクワから帰国し、首相に就任します。翌年 1946 年の国民投票では 93% の賛成票を得て、共和国を宣言、王制は廃止され、シメオン 2 世は国を離れます。10 月 27 日に実施された選挙では、共産党系の祖国戦線 (Fatherland Front) が 70% の得票率を獲得します。共産党員は圧力、脅し、公開裁判を使い、対立する党派を屈服し、一党独裁体制の確立に成功します。アメリカとイギリスは口先では抗議の姿勢を示したものの、新体制を承認します。共産党以外の政党は共産党に吸収されるか、解散して祖国戦線に吸収され、政党ではない民間の団体として再出発するか、選択を迫られました。新たに採択された 1947 年のいわゆる「ディミトロフ憲法」は 1936 年のスターリン憲法を模範としたものです。1948 年までにブルガリアの産業の 98% は国有化されました。国有化は重化学工業に重点を置く工業化と電力化と歩調を合わせて実施され、国家投資の 50% が工業に投下されました。その反面で、農村は省みられず、農業への投資は国家投資のわずか 10% に過ぎませんでした。土地は集団化が推進され、1956 年までに 80% の農地が集団農場として再編されます。過度の工業化と農業集団化により、都市と農村の人口比率は劇的に変化し、1946 年に 25% だった都市人口は 1965 年までにその倍の 50% に急増します。政治の世界では、1949 年までにあらゆる宗教制度は国家の監督の下に置かれるようになります。共産党内では粛清が進み、公開裁判によって幹部のトライチョ・コストフが処刑されます。1949 年にディミトロフが死去すると、ヴルコ・チェルヴェンコフ (Vulko Chervenkov) が実権を握り、1950 年には党書記長と首相を兼任し、ソ連をモデルに、公共生活の隅々まで抑圧的な支配装置の網を張り巡りました。1954 年には党書記長の座をトドル・ジフコフ (Todor Zhivkov) に譲り、以後、1989 年の東欧革命までジフコフ指導体制が続きます。

### 10 年間に亘る米国国務省のブルガリア関係文書約 15,000 ページを収録

本コレクションは、米国国務省在外公館の外交官が国務省と交わしたブルガリアの政治、経済、社会、軍事動向に関する往復書簡です。往復書簡の他に、国務省スタッフが用意した報告書や覚書、国務省と外国政府との交信記録、国務省以外の省庁、民間企業、個人との往復書簡も収録されています。米国は第二次大戦後の 1947 年にドナルド・ヒース (Donald R. Heath) が公使として赴任しますが、1950 年ブルガリア政府がヒースを「好ましからざる人物」と宣言したため、外交関係が中断、ヒース以下の公使館員は退去します。外交関係の中断は 1959 年まで続きました。本コレクションは、1945 年から 1954 年までの文書を収録しますが、外交関係が中断していた時代は、ベオグラード、イスタンブール、ロンドン、パリ等、ブルガリア国外から発信された文書を収録します。



◆データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: U.S. National Archives
- ◆ 期間: 1945年-1954年
- ◆ 総ページ数: 14,531ページ

※マイクロフィルム版のコレクション *Records of the Department of State Relating to the Internal Affairs of Bulgaria, 1945-1949, Records of the Department of State Relating to the Internal Affairs of Bulgaria, 1950-1954* を電子化したものです。